

とっとり産業フェスティバル2010 ポスター発表

テーマ	鳥取県の小・中学校における「TEAS」の実態調査
発表者	中村 貴志 鳥取環境大学環境情報学部建築・環境デザイン学科 教授
概要	この研究では、昨年度実施した高等学校 TEAS 実態調査の延長上で、小・中学校の TEAS の実態を確実に把握するとともに、停滞の原因を詳しく究明する。また、予想される困難を克服し、環境配慮の教育活動をいっそう充実しながら、TEAS の普及のための基礎資料を着実に蓄積する。

『研究計画』			
<p>① TEAS に登録されている小・中学校について、規格の運用状況と問題点などを詳しく調査する。また、組織の実情に応じて、運用の状況を改善する。</p> <p>② TEAS に未登録の小・中学校について、その原因や理由を詳しく調査する。また、認証支援のための合理的な方法を「推進マニュアル」などの形で提案する。</p> <p>③ 関連の説明会などを実施して、この規格に関する実質的な理解を深める</p>			
＜方法＞			
<p>A. 実態調査の対象（中学校 63 校、小・中学校 150 校）のすべてについて数回のアンケートを実施</p> <p>B. 上記のアンケートにもとづいて、詳しい現地調査を実施</p> <p>C. また、認証未登録の組織については、認証の準備を実質的に支援</p>			
＜目標＞			
<p>a) 事前のアンケート（約 45 項目、回収率目標：90%）</p> <p>b) 現地訪問（対象組織の 20%）</p> <p>c) 「推進マニュアルの提供」（希望組織の 30%）</p>			
『実施状況』			
<p>1) 上記① (TEAS登録校) については、アンケートの形で関連の情報を数多く収集した。</p> <p>2) 上記② (TEAS未登録校) については、現在、小学校30校、中学校12校をすでに訪問し、相当の範囲で未登録の理由を解明できたが、「推進マニュアル」の整備には至っていない。</p> <p>3) 上記③については、小・中学校のすべてに関連の資料を提供し、TEASの制度について実質的な理解を深めていただいた。</p> <p>4) 上記Aについては、小・中学校のすべてに対して第1次のアンケートを実施したが、その回答率は、現在、約60%に留まる。</p> <p>5) 上記Bについては、小・中学校だけでなく、各地の教育委員会をはじめ、行政組織や市民団体などと接触し、現在、合計約150名からさまざまなコメントを収集した。</p> <p>6) 上記a)については、アンケートの回収率がまだ目標値に達していないが、上記のb)は、目標値以上に実行できている。</p> <p>7) 上記c)については、TEASへの関心が停滞している理由を具体的に把握できたので、その状況を前提にして現在「推進マニュアル」の準備に取り掛かっている。この点、今後実施予定の第2次アンケートにもとづいて、いっそう的確なマニュアル作成を目指す。</p> <p>ー「停滞の理由」は、主として次の項目に関連する。</p> <p>①小・中学校の設置形態 ②各地の教育委員会や環境行政の意向 ③ 教育現場の実情 ④各種の文化組織や市民団体との関係</p>			
『結果・まとめ』			
<p>前項の7) に記した「停滞の理由」が次第に明らかになってきた。その理由は、上記の5) に関連したさまざまな資料で具体的に検証できる。特に、小・中学校の「設置形態」に関する問題が予想以上に大きいことが分かった。次年度の調査では、第3次のアンケートを実施し、現地の訪問を継続するとともに、いっそう多角的な観点に立ってこの問題を詳しく追及したい。TEAS の制度の普及については、上記のほかにもさまざまな「停滞の原因」が考えられる。それらの原因を総合的に解明することによって、効果的な「推進マニュアル」を整備したい。</p>			
【ライセンス情報】 発明の名称:		発明者:	
【産業界へのメッセージ】 想定される利用分野は、環境・教育・社会・生活の全般に及びます。この研究が、「環境立県」を目指す鳥取県の政策に貢献できれば幸いです。			
連絡先: 鳥取環境大学 環境・デザイン学科 教授 中村 貴志 鳥取市若葉台北1-1-1 TEL. 0857-38-6781 E-mail: u-nak@kankyo-u.ac.jp			
分野	その他(環境・教育・社会・生活)	プレゼンタイム	有 (無)